

## 2.現地概要ならびに2月7日までの対応状況：位置

### ■位置

### ■経緯

令和5年12月23日夜、モルタル吹付により法面保護がされている斜面において崩壊が発生し、崩土が国道に堆積したことで全面通行止めとなった。



引用：地理院地図

500m

## 2.現地概要ならびに1月8日までの対応状況：経緯

### 経緯

被災箇所における経緯一覧を以下に示す。

#### 被災経緯一覧表

| 年・月・日    | 時間       | 内容  |
|----------|----------|---|
| R5.3.11  | 21時30分ごろ | 吹付モルタル片の剥離  |
| R5.3.12  |          | コンサルタント会社による緊急踏査実施  |
| R5.5.8   |          | 吹付モルタルが剥離し、道路へ土砂が流出   |
| R5.5.9   |          | コンサルタント会社による緊急踏査実施  |
| R5.12.4  |          | 工事発注(R6.1より工事開始の予定)   |
|          | 21時04分   | 被災の通報、乗用車が巻き込まれ、50代男性が取り残された状態  |
|          | 21時15分   | 全面通行止を開始  |
|          | 22時      | コンサルタント会社に緊急踏査を依頼   |
|          | 23時59分   | 奈良建設業協会に災害対応活動を要請   |
|          | 0時09分    | 奈良県広域消防組合が救助活動を開始   |
|          | 0時45分    | 県道路マネジメント課が報道発表(第1報)  |
|          | 2時ごろ     | コンサルタント会社が吉野土木事務所工務第二課(上北山村)に到着   |
|          | 2-3時ごろ   | コンサルタント会社への状況説明および確認対応の指示   |
|          | 4時18分    | 50代男性が救助され、奈良県立医科大学付属病院へ搬送<br>前方に複数台の車両が巻き込まれている可能性が判明  |
|          | 5時30分    | 二次災害の恐れがあるため、現地での救助活動を中断  |
|          | 7時30分ごろ  | コンサルタント会社による緊急現地踏査開始(北側道路沿い)  |
|          | 8時00分    | 近畿地方整備局へ(りきんき号)が入尾空港離陸(現地情報収集)  |
|          | 8時15分ごろ  | UAV空撮写真により、崩壊地内に亀裂が確認   |
| R5.12.24 | 8時30分    | コンサルタント会社による調査結果速報提出<br>・法肩付近には亀裂が存在するため、二次崩壊発生の可能性があり<br>崩壊地内への立入りは危険である旨を報告   |
|          | 11時00分ごろ | 大西有三京都大学名誉教授(近畿地方整備局任命の道路防災ドクター)による現地状況確認<br>・今回の現象は「岩盤崩壊」と推定<br>・「凍結融解の影響」を示唆<br>・崩壊の発生予測は困難と評価<br>・人命救助にあたり、二次災害の危険性を指摘 |
|          | 13時ごろ    | 法面上部の不安定な土石の除去作業開始  |
|          | 13:30    | 県道路マネジメント課が報道発表(第2報)  |
|          | 15時      | コンサルタント会社による調査結果速報更新<br>・防災ドクターによる所見を追記   |
|          | 10時30分   | コンサルタント会社による斜面上部の現地踏査開始   |
|          | 14時      | 不安定岩塊の崩落(二次被害)の影響を考慮し、南側の規制ラインを約50m後退   |
| R5.12.25 | 15時30分   | コンサルタント会社による調査結果速報更新<br>・崩壊地周辺には亀裂や岩盤の緩みが顕著に認められた(①)<br>・人命救助にあたって除去すべき不安定岩塊が存在(②、③、④、⑤)                                  |
|          | 18時      | ロッククライミングマシンによる不安定岩塊の除去作業開始   |
|          | 22時      | コンサルタント会社による調査結果速報更新<br>・現地状況写真の追加  |

